



市 報

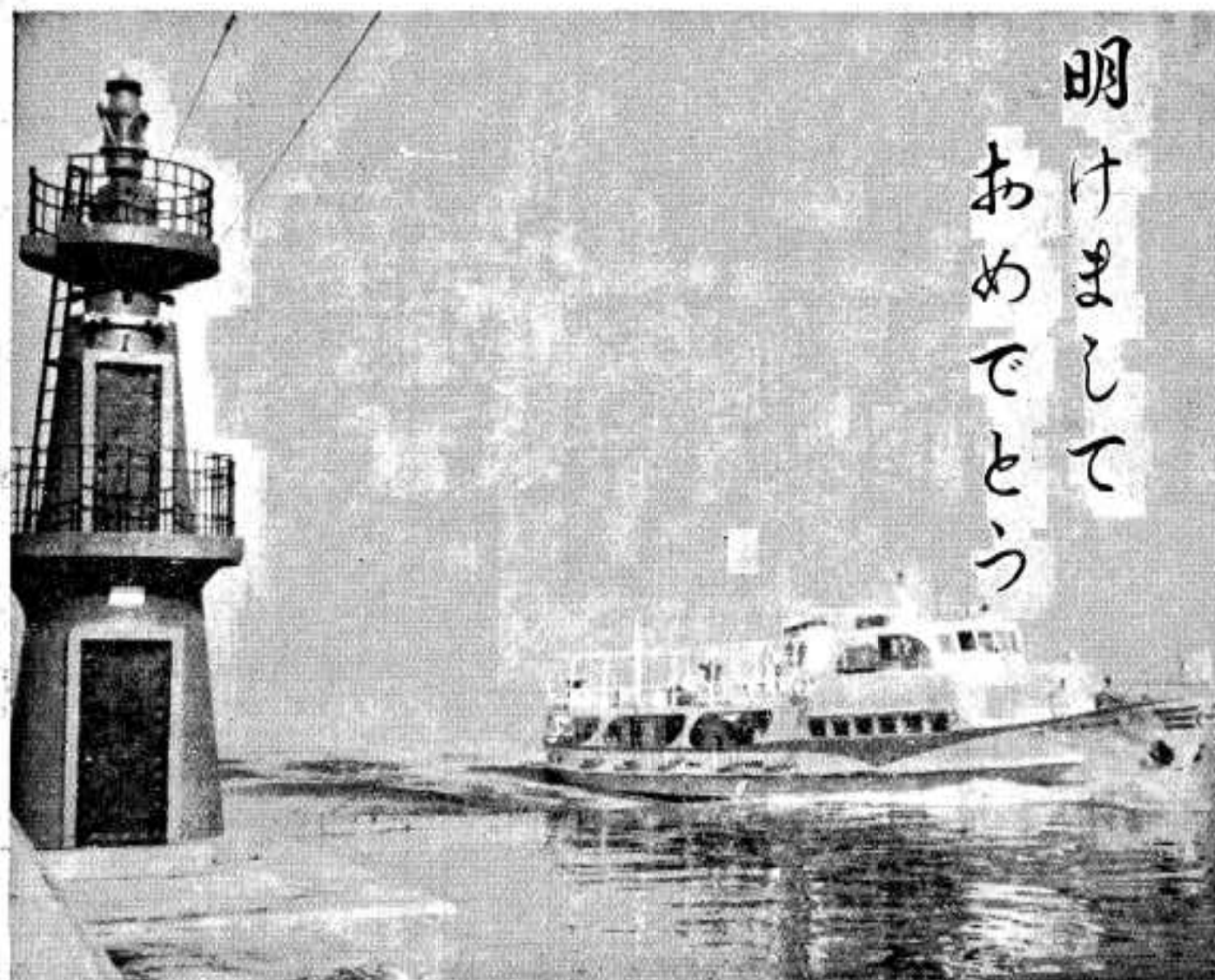
あ く ね

新 年 号

(第 179 号)

昭 和 37 年

1 月 1 日 発 行



明
けまして
あめでとう

旭光をあびて船出 (阿久根外港にて)

今月のよみ

1日.....元 旦
2日.....初 荷
4日.....御 用 始 め
6日.....小 寒
7日.....七 草
8日~13日インフルエンザ予防注射
15日.....成 人 の 日
16日.....消 防 出 初 式
(新消防タンク車の入魂式のつごうで、今年は少しのびました)
◇.....や ふ 入 り

中旬.....市 民 税 申 告 始 ま る
夕.....養 豚 講 習 会
中旬.....鉄 道 沿 線 緑 化 推 進 座 談 会
夕.....農 談 会
夕.....工 業 統 計 調 査
夕.....保 健 優 良 校 実 体 調 査
夕.....校 長 会
20日.....大 寒
22日~26日小 児 マ ヒ 予 防 注 射
25日.....固 定 資 産 税 (4 期) 納 期
27日.....国 旗 制 定 記 念 日
下旬.....労 働 力 統 計 調 査
夕.....新 入 学 児 童 身 体 検 査
夕.....青 年 団 研 修 旅 行



ふるさと

1962年



商店街（高松橋通り）↑

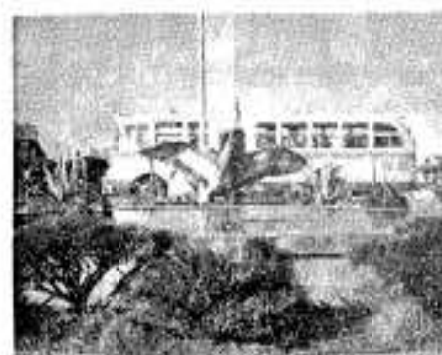


明けましておめでとーございます
みなさま方もさぞかし明るいお正月を、お迎えになったことと
ございましょう。輝かしい新々の気
に満ち満ちた、一九六二年の始め
にあたり、ここにこのような建設
状況を、ご報告できますことを、
心からお慶び申し上げます。

ただ今市内の各地に、農業、商業、水産業など全般に
わたり、各種建設を急いでいます。幸いにみなさま方の
ご支援により、本市の発展が図られています。



市内外の船舶は全部河久根港から搬出しています↑



きれいになった駅前ロータリー↑

鮮魚の水揚げでにぎわう漁協前↓



ブロックを投入して魚の巣づくり↓



大型鋼船（400屯）も横づけして荷積み 今年はこちらをさらに深く掘り大型船が入港できるようにします！

倉津の岸に大きな登台ができてつあります ↓



どんどん鮮魚船から水揚げ↓



広場一面をうめたイリコの原↓



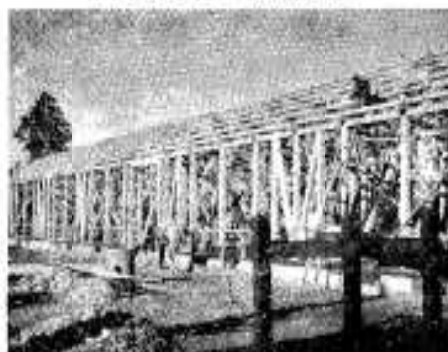


ぐんぐん伸びる舗装道路↑

大丸にできた北陸で初めてのボックス式公衆電話↑



山下小学校の省の新築↑



カーブをなおし幅を広げ舗装してゆく国道↑



ミカン園の薬剤散布も共同で↓



ウネ作りから肥料と種子をまき土かぶせまで麦作り機(1時間10アール)↓



牛から耕うん機へ(市内に200台)↓



換金作物の代表ミカンの収穫↓



建設続々

—輝く



都市の形態を整



特産として認められてきたポンタン↑

わたしが朝な夕な、ただこい願うのは、市の躍進であり、みなさまの福祉でございます。今年もうんとガンバリますので、どうぞ遠慮なくわたくしのしりをたいて、働かしてください。そしてみなさまと共に、住みよいきれいな阿久根市をつくりましょう。

一九六二年元旦 阿久根市長 丹宗 忠



阿久根市全景
(遠見岡より)



住みよい文化都市に

阿久根市議会議長 白浜 貫徳

とうございます。

昭和三十七年の輝かしい新春を迎え、みなさまと共に栄えゆく市の将来を築き、あわせて市政の伸展をお祝いできますことは、おたたくの心から喜びとするところであります。

阿久根市は来る四月一日をもって、市制十周年を迎えるのです。過ぎ去った十年をふり返って見ますと、制約された財政規模の中で、たび重なる台風をはじめ、幾多の災害にやまされながらも、あらゆる困難を克服し、市政全般にわたって、発展の一途をたどり堅実な歩みを続けてまいりました。

希望に満ちあふれた新しい年を迎えるにあたり、今年も一層のご指導をお願いし、みなさまの健康と幸せに恵まれた良き年であることを、心からお祈りし、新年のご挨拶といたします。

みなさん これは誠に市民のみなさまの、ご理解とご協力のたまものでございまして、ここに深く敬意と謝意を表するものであります。

しかしながら市民生活の安定を図るには、今後たくさんの方々の賛同と、住みよい文化都市建設のため昭和三十三年ころは市議選の年として、議員のみなさまと共に、議会運営に最善を尽くし、みなさまのご期待にそいたいと思っております。

希望に満ちあふれた新しい年を迎えるにあたり、今年も一層のご指導をお願いし、みなさまの健康と幸せに恵まれた良き年であることを、心からお祈りし、新年のご挨拶といたします。

書き初め書道展

阿久根市教育委員会、文化協会書道会共催による書道展を、一月二十、二十一日に、阿久根小学校講堂において開催します。

ご希望の方は一月十八日まで、市教育委員会に、半紙一点につき二〇円、条幅一点につき五〇円の手数料を添えて、ご提出ください。作品はすべて賞品があります。課題 小中学校は冬休み宿題帳の課題文字が、次の規定文字で書体は自由です。

五年	三年	一年
の富士	な大船	りひか
六年	四年	二年
地天久長	な元子	やふじ

阿久根市教育委員会、文化協会書道会共催による書道展を、一月二十、二十一日に、阿久根小学校講堂において開催します。

はかりの定期検査

みなさまお持ちのものはかりも、古くなれば狂うものです。そうして狂ったばかりではかれば、売る方は損をします。定期検査が次の日で行なわれますので、ぜひ検査を受け、安心して使いたしましょう。

16日大川小学校	大川校区
17日西目小学校	西目校区
18日三笠取納所	鶴本折多地区
19日阿久根取納所	上野・赤瀬川
本町・鶴川内・山下	
20日阿久根取納所	新町・波留・高松・大丸・倉津・等
21日阿久根取納所	その他

毎日午前九時から午後四時まで

阿久根のむかしむかし (15)

黒神岩

市内波留部落のガードをくぐり少し行くと、左側の田の中に海岸そのまの岩が二つ並んでいます。これを「黒神岩」と呼び阿久根七不思議の一つであります。

もともと波留という地名は「波どめ」であつて、海岸の意味であります。大昔はこの黒神岩のあたりが海岸線であつて、大小の磯岩が波に洗われていたと思われます。ところが当時大地震が起り、この海岸一帯は地面が数メートルも沈下しました。附近の磯岩も海中に沈み、ただ一つ非常に大きかった「黒神岩」だけが、その頭を水面に残すだけとなりました。

その後数千年の歳月が流れ、この深くなった湾内も、高松川が運ぶ土砂でしだいに埋まり、今日見るような水田の中に海岸の岩がある、珍らしい風景となったのです。

昔の人は変わった岩や大木などは、よく神としてあがめました。われわれの祖先がこの珍らしい黒い岩を「黒神」としたのも当然で、水田の中にあるところから、「田の神」「大黒様」と考えたものでしょう。

そして黒い「神」の岩であるところから「黒神岩」となったものと察せられます。

これは現在行なわれている次の祭りでも知ることができます。現在地主の郡山元一氏は、祖先から伝えられた毎年11月の丑の日を祭日として、餅をつきそれを牛の舌の形に切って、わらづとに包み、黒神岩に結びつけ、「モー、モー」と牛のくまねをして、岩の周りを三回まわります。これが大黒祭りで、田の神祭なのです。